

# 教 員 業 績

フリガナ	ナカムラ ユウイチ				
氏 名	中村 有一				
学 歴					
年 月	事 項				
昭和 56(1981)年 3月	東京大学工学部電気工学科卒業				
昭和 58(1983)年 3月	東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻（修士課程）修了				
昭和 58(1983)年 3月	工学修士の学位授与（東京大学）				
昭和 58(1983)年 4月	東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻（第1種博士課程）進学				
昭和 60(1985)年 7月	東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻（第1種博士課程）退学				
職 歴					
年 月	事 項				
昭和 61(1986)年 10月	埼玉大学大学院政策科学研究科非常勤講師 都市のデータ解析担当（（）年月まで）				
平成 2(1990)年 4月	多摩大学経営情報学部助教授 プログラム入門Ⅰ、データ処理概論ⅠⅡ、経営科学ⅠⅡ、プログラム言語特講Ⅰ、専門演習ⅠⅡ（（）年月まで）				
平成 5(1993)年 4月	多摩大学大学院経営情報学研究科助教授 経営科学特論担当（（）年月まで）				
昭和 60(1985)年 8月	東京大学工学部都市工学科助手（（）年月まで）				
昭和 60(1985)年 8月	東京大学工学部都市工学科助手（（）年月まで）				
昭和 61(1986)年 10月	埼玉大学大学院政策科学研究科非常勤講師（都市の解析担当）（（）年月まで）				
平成 1(1989)年 4月	多摩大学経営情報学部助教授（経営科学、プログラミング演習Ⅰ担当）（現在に至る）（（）年月まで）				
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等					
現在所属している学会	なし				
年 月	事 項				

賞 罰	
年 月	事 項
	なし

研究分野		研究内容のキーワード	
<b>教育上の能力に関する事項</b>			
事項	年月日	概要	
【1 教育方法の実践例】 卒業論文のweb上での公開	1998年2月日	卒業論文をPDF形式にして、web上に公開し、どこでも利用できるようにした。これにより保管スペースを節約するとともに、利便性が向上した。	
【1 教育方法の実践例】 講義内容のweb上での公開	2000年4月日	プログラミング関係のテキストをPDF形式にして、web上に公開し、どこでも利用できるようにした。テキストを忘れたときや、なくした場合にも利用可能になった。	
【1 教育方法の実践例】 web上の掲示板による講義に関する質問の受け付け	2002年11月日	プログラミング関係の授業で質問内容を、web上の掲示板で受け付け、回答するようにした。これにより、質問内容が共有できるとともに、時間を気にせず、質問できるようになった。	
【2 作成した教科書、教材】 「Turbo C++プログラミング入門Ⅰ」の作成	1993年10月日	講義科目「プログラミング言語Ⅰ」のテキストとして、冊子を作成した。	
【2 作成した教科書、教材】 「C++プログラミング入門Ⅰ」の作成	1994年10月日	講義科目「プログラミング言語Ⅰ」のテキストとして、冊子を作成した。	
【2 作成した教科書、教材】 「HyperTalkプログラミング入門」の作成	1995年5月日	講義科目「情報基礎Ⅰ」のテキストとして、冊子を作成した。	
【2 作成した教科書、教材】 「C言語プログラミングⅠ、Ⅱ」の作成	1995年10月日	講義科目「プログラミング言語Ⅰ、Ⅱ」のテキストとして、2種類の冊子を作成した。	
【2 作成した教科書、教材】 「経営科学Ⅰ」の作成	1996年5月日	講義科目「経営科学Ⅰ」用のテキストとして、冊子を作成した。その後、数年間、教科書として利用した。	
【2 作成した教科書、教材】 「REAL basicプログラミング入門」の作成	1999年5月日	講義科目「情報基礎Ⅰ」のテキストとして、冊子を作成した。	
【2 作成した教科書、教材】 「C言語プログラミング入門」の作成	2000年4月日	講義科目「プログラミング言語Ⅰ、Ⅱ」のテキストとして、冊子を作成した。	
【3 教育上の能力に関する大学等の評価】	年月日		
【4 実務の経験を有する者についての特記事項】	年月日		
【5 その他】	年月日		
<b>職務上の実績に関する事項</b>			
事項	年月日	概要	
<b>研究業績等に関する事項</b>			

著書，学術論文等の名称	単著 共著 の 著 者 別	発行又 は 発表の 年 月	発行所，発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
著書，学術論文等の名称	単著 共著 の 著 者 別	発行又 は 発表の 年 月	発行所，発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
(学術論文)				
単位料金区域からみた通話トラヒックの基本特性に関する研究	共著	1992年 月	情報通信学会年報 平成3年度	著者 中村有一、長谷川文雄
通話トラヒックデータに基づく単位料金区域の統合化手法に関する考察	共著	1992年 月	TIMIS Journal No. 32 多摩大学	著者 中村有一、高嶋裕一
関東地方における通話の都市間交流に関する研究	共著	1992年 11月	日本都市計画学会 都市計画論文集 No. 27	著者 中村有一、南部世紀夫、 長谷川文雄
地域間情報トラヒックに関する計量分析	共著	1994年 1月	電気通信普及財団 研究 調査報告書 No. 8	
電話利用の地域特性に関する研究	共著	1994年 月	TIMIS Journal No. 39 多摩大学	著者 南部世紀夫、中村有一、 長谷川文雄
フラクタル構造を利用した地域情報のモデル化について	単著	2001年 月	経営・情報研究 多摩大学 研究紀要 No. 5 Modeling of Regional Information by using Fractal Structure	

著書、学術論文等の名称	著者別 単共の	発行又は 発表の 年 月	発行所、発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要
大都市圏における情報交流 の分析手法	単著	2007. 3	経営・情報研究 多摩大 学研究紀要. 11, (2007. 3), p. 15-25	著者 中村 有一
情報共有型地理情報システ ムの開発と評価	単著	2009. 3	経営・情報研究 多摩大 学研究紀要. 13, (2009. 3), p. 31-37	著者 中村 有一
地域間情報交流の分析手法 について	単著	2010. 3	経営・情報研究 多摩大 学研究紀要. 14, (2010. 3), p. 41-54	著者 中村 有一
地域間フローデータの視覚 化について	単著	2013. 3	経営・情報研究 多摩大 学研究紀要. 17, (2013. 3), p. 105-112	著者 中村 有一
T-NEXT 活用支援システム の開発による学生エンロー ルマネジメント改善	共著	2015. 2	経営・情報研究 多摩大 学研究紀要. 19, (2015. 2), p. 199-202	著者 出原 至道 . 志賀 敏宏 . 中村 有一
地域間フローデータの階層 的視覚化	単著	2017. 2	経営・情報研究 多摩大 学研究紀要. 21, (2017. 2), p. 125-132	著者 中村 有一
(その他)				